

拠点名称：富山循環経済モデル創成に向けた産学官民共創拠点

代表機関	富山大学	プロジェクトリーダー	柴柳 敏哉 富山大学 学長補佐、先進アルミニウム国際研究センター長、 学術研究部都市デザイン系教授
幹事自治体	高岡市	幹事機関	東北大学 YKK AP株式会社、三協立山株式会社
参画機関	関西大学、早稲田大学 富山県、射水市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市、魚津市、黒部市、アイシン軽金属(株)、ハリタ金属(株)、北陸アルミニウム(株)、(株)エスアール、新潟メスキュード(株)、北陸テクノ(株)、(株)エムダイヤ、(株)小野田商店、氷見軽合金(株)、国沢アルミ合金(株)、畑山アルミ合金(株)、新保軽合金工業(株)、(一社)富山県アルミ産業協会、(株)アイシン、(株)シマノ、日本電気(株)、(株)宮木製作所		

プロジェクトの概要

富山大学の持つアルミリサイクル技術ならびに情報技術を核にして、地域の産学官民が一体となって、技術やアイデアの新結合により国際競争力を伴う高付加価値リサイクルアルミ製品を創り出し、「循環経済型イノベーション都市」へと社会を変革する。

アルミでの成功を他の素材にも拡大し、市民と共に、ものを捨てない「100%循環ライフスタイル」を浸透させ、富山に循環経済に関する新たな地域産業・サービスを次々と創生し、その魅力で若年層を中心に人々が集まる地域に活性化させる。

これにより、富山県の抱える「人口減少」「産業の停滞」「活力の低下」等の課題を解決し、日本有数の「ものづくり県」としての発展を促す。

Vision: アルミからはじまる循環経済型イノベーション都市

地域課題

- ①人口減少・若者流出
- ②地域産業の停滞
- ③街の活力低下

富山の主要産業

アルミ産業の課題

- ①アルミ精錬時に、大量のCO₂を排出
- ②アルミ新地金は100%輸入のため価格高騰、供給不安



地域の強み

- ①アルミリサイクル全工程の企業と研究が集積
- ②環境保護意識の高い県民性

産学官民による拠点活動



- ①アルミ100%資源循環から地域経済活性化を実現



オープンな研究環境

アップグレードリサイクルプロセスを確立



- ②100%循環ライフスタイルによる豊かな暮らしを地域の誇りに
人材育成・市民連携
新たな社会構築を検討

10年後 循環経済型社会に変化

- ・リサイクルで原材料を確保
- ・環境負荷を低減

・循環経済に関する新たなサービス等を創出、魅力の向上（雇用対策）

経済効果（富山県）

約**850億円**

- 民
- ・経済的豊かさ
- ・活力ある暮らし
- ・若者に魅力ある職場ができ地域で就職
- ・豊かな自然環境の中での健やかな暮らし

- 学
- 多様な人々、アイデアが集まり、イノベーションを起こす社会
変革拠点へ